



2021年度 職員健康レポート

一般財団法人 西日本産業衛生会

1.法人の健康支援の取組状況に関する指標

①定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨	2021年度	前年度	同業種平均値
1)定期健康診断受診率	100% ↑	100%	-
2)精密検査対象者受診勧奨率	100% →	100%	-

②特定保健指導	2021年度	前年度	同業種平均値
特定保健指導利用率*	11.6%	25.0%	13.3%

*コロナ禍の影響で特定保健指導(後日研修型)が中止となり利用率低下が続いているため、次年度は健診当日型と併用し利用強化を図ります。目標値:利用率100%

③健康イベント(身体面)	2021年度	前年度	同業種平均値
フィジカルヘルスセミナー参加者数*	(中止)	(中止)	-

*コロナ禍の影響でセミナー中止が続いているため、次年度からは実施可能な方法での開催を図ります。

④福利厚生	2021年度	前年度	同業種平均値
1)福利厚生(フィットネス利用割引等)利用者数 (※北九州病院グループ全体の利用者総数、※※職員の二親等以内の家族まで利用可のため、人数に含まれる。)	1723名 ↑	1213名	-

*利用者数の増加に向け、カウンセリング制度の再周知や各種研修会での広報を行います。

⑤ストレスチェック	2021年度	前年度	同業種平均値
1)ストレスチェック受検率	97% ↑	95%	-
2)ストレスチェックの職場別分析結果を受けて 職場環境改善に取り組んだ職場※の割合 ※総合リスク値120以上の職場が対象	100%	(把握無し)	-

⑥健康イベント(メンタル面)	2021年度	前年度	同業種平均値
1)メンタルヘルスセミナー参加者数	41名 ↑	30名	-
2)メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種 (ラインケアコース)団体受験合格者数(累積)	71名 ↑	65名	-
3)メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種 (セルフケアコース)団体受験合格者数(累積)	60名 ↑	51名	-

⑦健康イベント(コミュニケーション面)	2021年度	前年度	同業種平均値
コミュニケーションイベント(研修・交流会)参加者数	96名 ↑	39名	-

(同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元)

1)全国健康保険協会福岡支部(事業所カルテ2022年度版)

2.職員の意識・行動変容に関する指標

⑧精密検査の受診	2021年度	前年度	同業種平均値
精密検査受診率*	50.7% ↑	47.2%	-

＊コロナ禍の影響で受診控えが続いているため、引き続き受診勧奨の徹底を図ります。

⑨健康的な生活習慣の実施	2021年度	前年度	同業種平均値
1)運動習慣率(1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合)	14.7% ↓	15.1%	17%
2)身体活動率(日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合)	34.0% ↑	30.9%	42%
3)間食率(朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合)	27.9% ↑	26.9%	26%
4)朝食欠食率(朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合)	25.1% ↑	22.5%	20%
5)飲酒率(お酒を毎日飲む者の割合)	17.5% →	17.5%	19%
6)喫煙率	10.6% ↓	10.7%	15%
7)良眠率(睡眠で休養が十分取れている者の割合)	65.3% ↑	62.1%	63%

(同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元)

1)全国健康保険協会福岡支部(事業所カルテ2022年度版)

3.健康関連の最終的な目標に関する指標

⑩長期 [※] 病欠・休業率	2021年度	前年度	同業種平均値
[※] 連続1か月を基準に把握			
1)メンタル不調による長期病欠・休業率＊	0.5% ↓	1.5%	
2)メンタル不調以外による長期病欠・休業率	1.6% ↑	1.4%	

＊メンタル不調による長期病欠・休業率が若干増加しているため、両立支援セクション(メンタルサポート室)による職場復帰支援を行い、安心・安全な復職・再休業予防に努めます。

⑪体調不良を抱えながら働く職員の割合	2021年度	前年度	同業種平均値
1)健康診断有所見率＊	77.5% ↑	62.9%	
2)メタボ該当率	6.8% ↑	5.1%	
3)高ストレス率＊	13.0% ↓	14.6%	13.0%

＊引き続き様々な健康支援・快適職場づくりに取り組み、改善を目指します。

⑫活力・熱意などを抱いて働く職員の割合 [※]	2021年度	前年度	同業種平均値
[※] ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度超短縮版3項目を使用し把握			
1)活力度(仕事をしていると活力がみなぎると感じる者の割合)	66%	(測定なし)	-
2)熱心度(仕事に熱心であると感じる者の割合)	86%	(測定なし)	-
3)没頭度(仕事をしていると時間が経つのが早いと感じる者の割合)	91%	(測定なし)	-

⑬職場の快適度やワークライフバランス	2021年度	前年度	同業種平均値
1)就労継続意欲(現在の職場でできるだけ長く勤めたいと感じる者の割合)	74% ↑	71%	-
2)パワーハラスメント経験率(現在の職場で過去3年間のパワーハラスメントを受けたと感じる者の割合)	6% ↓	19%	36%
3)高ストレス職場への該当率(総合リスク値120以上の職場の割合)	23% ↓	27%	-

4)平均月間残業時間(所定外労働時間)	10時間 →	10時間	-
5)平均年次有給休暇取得率*	86% ↑	79%	58%

*引き続き有給休暇取得促進を図ります。目標値:同業種平均値以上の継続

4.健康支援で解決したい経営課題

⑭職員のパフォーマンス発揮※ ※ SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大 1 項目版)を使用し把握	2021年度	前年度	同業種平均値
パフォーマンス発揮率(心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを100%とした場合の、過去4週間の業務パフォーマンスの発揮率)	80% ↑	68%	-

5)

⑮人材確保・定着	2021年度	前年度	同業種平均値
1)平均勤続年数	11.0年 ↑	9.7年	-
2)離職率*	6.6% ↓	7.0%	14.2%

*働き続けたいと思える職場を目指し、様々な健康支援・離職対策を講じます。

目標値:平均勤続年数9年以上

(同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元)

- 2)全国労働衛生団体連合会・メンタルヘルス専門委員会(令和3年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書)
- 3)厚生労働省(令和2年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書)
- 4)厚生労働省(令和3年就労条件総合調査)
- 5)厚生労働省(2020年度雇用動向調査)